

共創による事業構築 テーマ説明資料

テーマ (4)公共土木施設の愛護活動の活性化・持続化につながる仕組みの構築	
<p>テーマの概要</p>	<p>道路アダプト活動や河川愛護活動、砂防施設周辺の美化活動といった、公共土木施設の愛護活動※の魅力・社会的な価値を高め、若者や企業、学校など幅広い主体による愛護活動への参加を促す仕組みを構築するための提案を募集。</p> <p>※愛護活動:地域の自治会等が行う公共土木施設の環境保全や美化活動</p>
<p>担当課</p>	<p>建設部/道路管理課・河川課・砂防課</p>
1. 県における課題認識	
<p>解決したい社会課題</p>	<p>アダプトとは「養子縁組をする」という意味で、住民が道路などの公共スペースをわが子のように愛情をもって面倒を見るボランティア活動を制度化したもののだが、人口減少や高齢化の進行により、愛護活動への参加者が減少しており、活動の活性化が求められている。</p> <p>現在、道路アダプトだけでも400近い団体に協力していただいております、沿道美化の促進に大きな役割を担ってもらっているため、こうした活動の参加者の減少は、良好な沿道美化の維持への影響が危惧される。</p>
<p>その背景・経過</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛護活動の母体は地縁団体が多く、地域の高齢化により、団体・会員数の減少に直面している ・ 愛護活動や活動団体の認知度が低い ・ 現在の愛護活動の内容では訴求力が弱い
<p>これまでの県の取組</p>	<p>既に活動している団体への支援として、下記事業等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛護活動の広報(県ホームページでの紹介、活動団体名の表示看板設置) ・ 模範団体の表彰(道路、河川) ・ 既に活動している団体に対する活動経費の一部負担(参加者の保険加入、資材の現物支給、燃料費の支援等)
<p>県事業の課題、手詰まり感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○既存団体で新たな担い手を確保するための外部環境が悪化している。 ・ 人口減少と高齢化の影響により、愛護活動の母体となっている自治会などの地縁団体の活動への参加者が減っている。 ・ 住民の入れ替わりの激しい市街地では地域への愛着だけでは参加の動機付けが弱い。 ○情報発信手法の限界 ・ 従来の広報媒体(ホームページや看板)では、ターゲットとしたい若年層等への発信力が弱い。
2. 1の課題に対して本事業を通じて最低限成し遂げたいこと	
<p>事業のゴール期待する成果</p>	<p>愛護活動への担い手確保のための仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①若者や企業などの多様な主体の巻き込み、新たな参加手法の創出 ②愛護活動の魅力(価値)の向上 ③活動に対する新たな付加価値の創造

<p>期待する提案の例 (解決策イメージ)</p>	<p>複数の地域でモデル事業を実施し、県内の広い地域に横展開できるような仕組みを期待します。</p> <p>※道路・河川・砂防それぞれ施設の特性に違いがあるため、R6 に検討する提案内容はこのうち一つでも可とし、他の土木施設への拡大、県下全域への普及は翌年度以降行うこともあり得ます。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな担い手候補に参加してもらうイベント(活動体験等)の開催 ・ アダプト活動における好事例を横展開するための仕組みづくり ・ 学校、企業等多様な主体を巻き込む手法、活動の提案 ・ 学校や企業の活動への参入のインセンティブとなる制度・付加価値の提案、参入の仕組みづくり ・ 新たな情報発信手段・手法の提案
<p>3. 求める共創の方向性</p>	
<p>共創のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛護活動は民間主体の活動であり、<u>新たな担い手として想定されるユーザー視点で、新たな参加動機や魅力創出につながるアイデアを共に検討したい。</u> ・ 従来の活動団体以外の方の関心を喚起するとともに、<u>情報の受け手側からの視点での効果的なアプローチ手段・手法を検討し、新たなターゲット層を巻き込むためのアイデアを共に検討したい。</u> ・ 愛護活動の新たな担い手を確保し、多くの県民が参加することを通じて、公共土木施設への関心が高まり、道路・河川等が快適な状態で維持される社会を実現するための事業構築を、県民の皆様と共に創り上げたい。
<p>想定している提案相手</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校関係の団体・グループ ・ 企業[地域貢献やSDGsに関心がある企業] ・ 経済団体等[商工会、商工会議所、観光協会など]
<p>4. その他、参考情報</p>	
<p>県が提供するリソース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛護活動団体の紹介[県ホームページを参照] ・ 構築を目指す事業の実証地の紹介 ・ 事業構築期間中における試行的な活動実施地域の紹介 ・ 県広報媒体での情報発信 など <p>※上記のほか、対話過程で必要が生じましたら相談の上対応が可能です。</p>
<p>参考資料 補足説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛護活動について:アダプトシステム(信州ふるさとの道ふれあい事業) [道路管理課ホームページ https://www.pref.nagano.lg.jp/michikanri/infra/doro/shisaku/adapt/index.html] ・ 河川愛護活動について [河川課ホームページ] https://www.pref.nagano.lg.jp/kasen/infra/kasen/kanri/monitor/kasenaigo.html ・ 砂防等施設維持管理ボランティア活動について [砂防課ホームページ] https://www.pref.nagano.lg.jp/sabo/infra/sabo/kyodo/kyodo.html